学校番号	３０７

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	合奏・合唱	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・吹奏楽コースの「合奏・合唱」の授業では、コンクールや演奏会の曲目について、楽曲研究やソルフェージュのスキルをいかして、より早く音楽的に優れた合奏になるような能力を養う授業を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コンクールや演奏会で演奏する楽曲について、全体の合奏の質を上げるために、上達のためのスキルを身に着けられること。そのために基礎合奏を行い基礎的な合奏力を習得すること。
【思考力、判断力、表現力等】
「楽曲研究を行い、その成果として、演奏のあり方について思考判断して豊かな音楽表現ができるようになること。
【学びに向かう力、人間性等】
演奏会やコンクール等の舞台で演奏する時の合奏において、主体的で豊かな音楽表現ができるような能力を養う事。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術や技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作について思考・判断・表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて取り組む。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	サマーコンサート	・サマーコンサートの楽曲について、	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	演奏聴取	レポート	観察
	コンクール曲	・コンクール課題曲、自由曲について	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	演奏聴取	観察	観察
2	香里丘吹奏楽フェスタ	・香里丘吹奏楽フェスタで取り上げる、「七夕(酒井格　作曲)について	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	演奏聴取	観察	観察
	クリスマスコンサート	・クリスマスコンサートの楽曲について	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	演奏聴取	レポート	観察
3	定期演奏会	・定期演奏会の楽曲について	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	演奏聴取	レポート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度